

2月1日小野主幹教諭が兵庫県優秀教職員表彰を受賞され、その表彰式に行かれました。「環境防災科において環境防災部長として県教育委員会の防災ジュニア育成事業に携わり、東日本大震災におけるボランティア活動のみならず、県下の中心となってその後の継続支援に貢献したことによる」ものが理由です。中心的な存在として関わっていただいたことが今回の受賞に結びつきました。本校としても嬉しい限りです。今回の受賞を機に1月1日に起こった能登半島地震で被災された方々への継続的な支援を考え、舞子高校としての関わり方を考えてくれるものと期待しています。本当におめでとうございます。



2月2日に校内ロードレース・駅伝大会を総合運動公園周回コースで開催しました。非常に寒い中ではありましたが、開会式で私は「このような行事は少なくなってきているので、走るのが苦手な人もいるかもしれないが、楽しんでやって欲しい」と伝えました。その後、準備体操をして、女子ロードレースから始まりました。先生方にはそれぞれの担当ポイントで歩行者にぶつからないよう注意しながら、安全を確保していただきました。男子ロードレースも含めて自分たちの力を出し切ろうと最後まで頑張ってくれました。駅伝では各クラス代表選手が出場し、ロードレースを終えた生徒たちの熱い声援を受け、力の限りを尽くして頑張っていました。襷の力は大きく、渡し終えた後にしばらく立てない生徒も多数出るなど、最後まで諦めない素晴らしい走りを見せてくれました。男女ともに2年3組が優勝。2位3位争いは男女ともに激戦でした。表彰式では、男女の駅伝チームに前に出て来てもらって表彰状を手渡しました。閉会式で私は「生徒も先生も、新型コロナや今年の雨による中止などでこの大会を初めて経験する人が多く、今日が新たなスタートになる。皆の応援の一体感はとても素晴らしいと思った。また走っている選手の姿にも感動した。このような行事を続けていけるように今日の頑張りを明日からの学校生活に生かして欲しい」と話しました。大会の盛り上がりもさることながら、生徒たちの頑張る姿は私たちにも元気を与えてくれたように思います。個人表彰は後日行われるようですが、皆さんお疲れ様でした。優勝したチームの皆さんおめでとうございます。



2月3日は垂水区総合防災訓練に本校環境防災科も協力。小東山小学校グラウンド及び体育館で行われました。警察、消防、区役所と地域ぐるみで行われ、災害現場におけるトリアージの手順の確認や搬送の仕方などを間近に見ることができました。体育館では本校生徒がテントや段ボールベッドの組み立てを地域住民と一緒に、

いざという時の練習をしました。また、イベント恒例のひまわり楽習迷路も設置。引率の先生方も案内役を務めるほど多くの方が訪れ、来られた方に関心を持っていただきました。起震車も来ていて、震度6弱の揺れを経験する催しや六甲砂防事務所による土石流発生のおもちゃの仕組みの模型など私自身あまり参加したことのない訓練でしたので、実際の様子がよくわかり、勉強になりました。比較的天気も良く、多くの方が参加されていました。翌日には垂水区防災運動会が垂水体育館で行われ、そちらにも本校生は参加。この時期は環境防災科は大忙しです。引率の先生方、協力してくれた生徒の皆さんお疲れ様でした。



そして、2月2日から受付の始まった推薦入試、特色選抜について6日12時に締め切られ、環境防災科62名(定員40名)、先進理工類型11名(定員10名)の応募がありました。どちらも定員を超えていますので、選抜となります。インフルエンザもまだまだ流行っているところです。受検生の皆さんは体調管理に努め、試験当日力を発揮してくれることを期待しています。私たちは、選抜試験をしっかりと安全安心にしかも公正に実施できるよう努めて参ります。

2月に入り早1週間が過ぎました。今年度も残り2ヶ月。生徒の皆さんは来週の入試関係での休業も含め、学年末考査の準備だけでなく、次年度の準備をし、さらに自らモチベーションを上げて学習に取り組めるようにしましょう。同時に体調管理にも細心の注意を払ってください。